



[S] Reasons

Secure Management with us
Substantial Solutions with us
Sustainable Society with us

ゆるぎない経営基盤と管理のために
本質的で実質的な課題解決のために
持続可能な社会と事業環境のために

Satisfactory

株式会社サティスファクトリー

■ 会社概要

社名	株式会社サティスファクトリー
代表者	代表取締役社長 恩田 英久
設立	1996年11月13日
資本金	1億円
本社所在地	東京都中央区八丁堀3-12-8
グループ拠点	東京、大阪、名古屋、広島
従業員数	120名（グループ計）

■ 廃棄物マネジメントの実績

業種業態を選ばず全国対応、国内随一の廃棄物マネジメント会社

Satisfactory

処分費
適正化

間接経費
削減

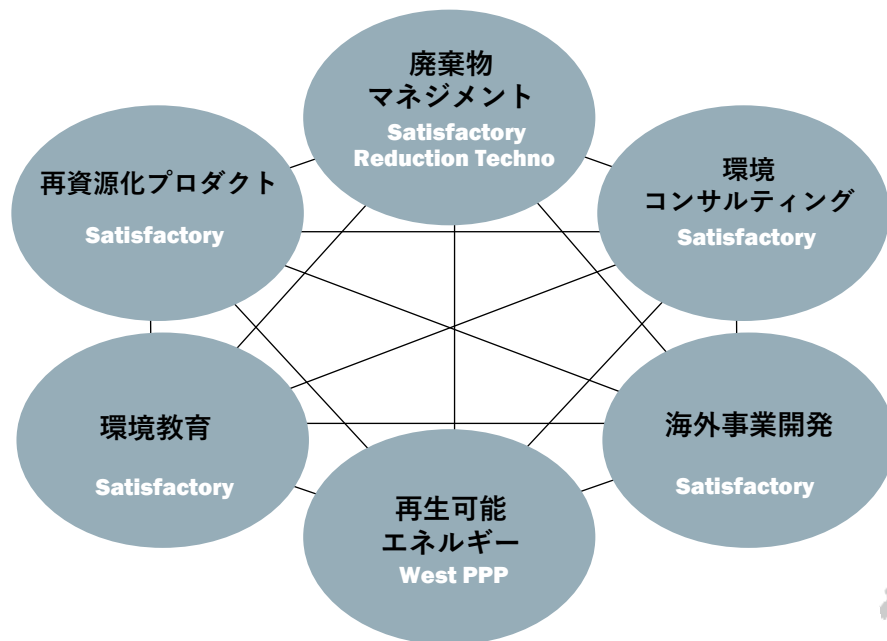
環境負荷
低減

コンプラ
強化

調査管理実績
52,000事業所

常時管理
15,000事業所

処理業者パートナーシップ
3,500社



おかげさまで第25期を迎えました

■ 沿革

- 平成8年 ● 東京都中央区日本橋茅場町にて飲食店経営を開始
- 平成9年 ● 環境廃棄物関連事業を開始
- 平成11年 ● 主に廃棄物管理・リサイクル事業、店舗等の清掃、空調機のメンテナンス事業を行う
- 平成17年 ● 株式会社オープンコミュニティを完全子会社化
- 平成20年 ● 子会社 株式会社オープンコミュニティの全株式を譲渡
● 英国co2balance Group Limited（シーオーツーバランスグループリミテッド）と業務提携
● カーボンオフセット事業に本格参入する
- 平成24年 ● 海外事業に本格的に参入
- 平成25年 ● 環境省JCM実証案件組成調査「卸売市場における有機廃棄物メタン発酵及びコジェネレーション」をし調査業務を開始
● ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
- 平成26年 ● 環境教育事業を開始
- 平成27年 ● 中国支社を開設
● 再生可能エネルギー事業に参入
● 環境教育研究所を開設
- 平成28年 ● 大阪支店、名古屋支社を開設
● 東京都から受託をして小学生に向けて「エコクラフトパックプロジェクト」を実施
- 平成29年 ● 災害廃棄物研究所を開設
- 平成30年 ● 業界初の「産業廃棄物排出者責任保険」「産業廃棄物収集事業者・請負賠償責任保険」を包括的に提供するサービスを開始
- 令和元年 ● 環境コンサルティング事業を本格化
- 令和2年 ● 再生材99%ごみ袋「FUROSHIKI」供給開始

■ 事業ポートフォリオ

廃棄物処理を改善したい
排出事業者様へ

環境に配慮した事業を始めたい・強化したい
CSR・サステナビリティご担当者へ

廃棄物マネジメント

廃棄物一元管理 廃棄物物流改善 コスト適正化 リスク管理 再資源化

環境コンサルティング

サステナブル事業開発 海外環境事業開発 環境教育研究所 災害廃棄物研究所 再生可能エネルギー

52,000
事業所

3,500
パートナー

業界初
**不法投棄
保険付帯**

2020年本格化
**再資源化
製品開発**

5 / 7
都市 / PJ

39
小学校

44 県市町村
288 か所

(調査・管理の累計)

(業者取引)

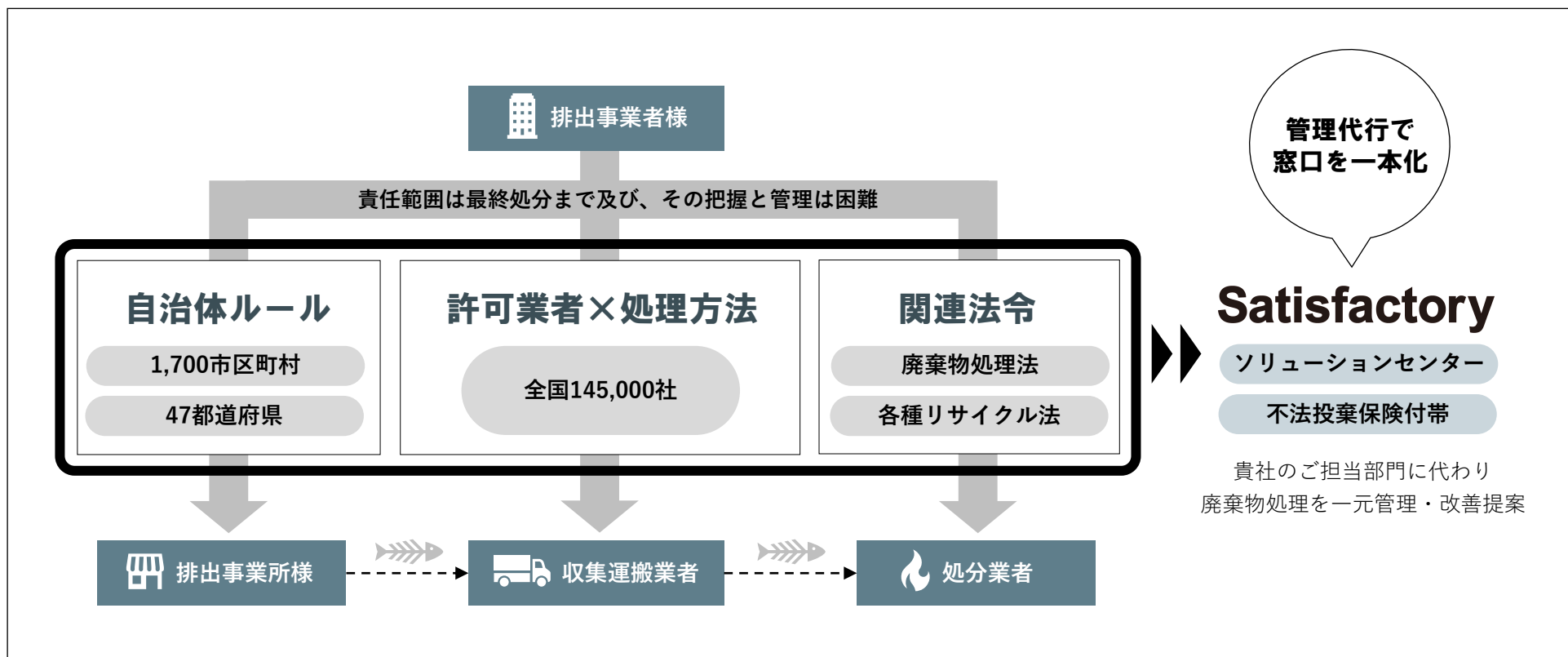
(教材・プログラム提供)

(発電事業に係る協定)



還元力でハブになる、Linkage Complex

■ 廃棄物マネジメント事業



全国の複数店舗を
一元管理で効率化

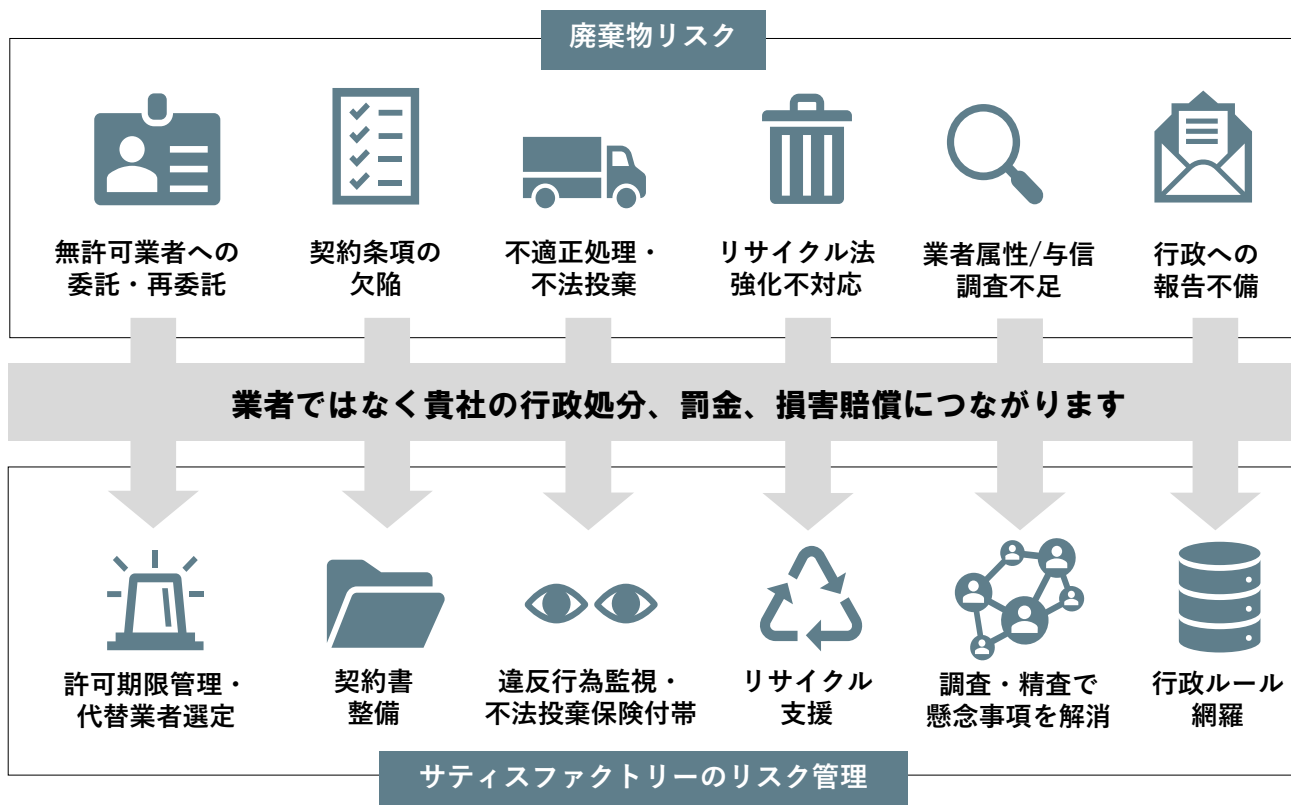
リサイクル提案、物流改善、業者交渉で
コスト適正化&環境負荷低減

適正処理とリスク管理で
コンプライアンス強化

私たちにしかできないマネジメントがあります

■ 危機管理体制

排出事業者の責任範囲は廃棄から処分まで広く、リスクマネジメントが不可欠です。
見えないところまで行き届く情報網と監視・管理でコンプライアンスを強化します。

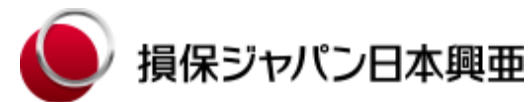


業界初!

「産業廃棄物排出者責任保険」

不法投棄に措置命令、勧告、除去費用求償を受けた場合の撤去や浄化の費用、賠償責任負担の損害を補償。

(引受保険会社)



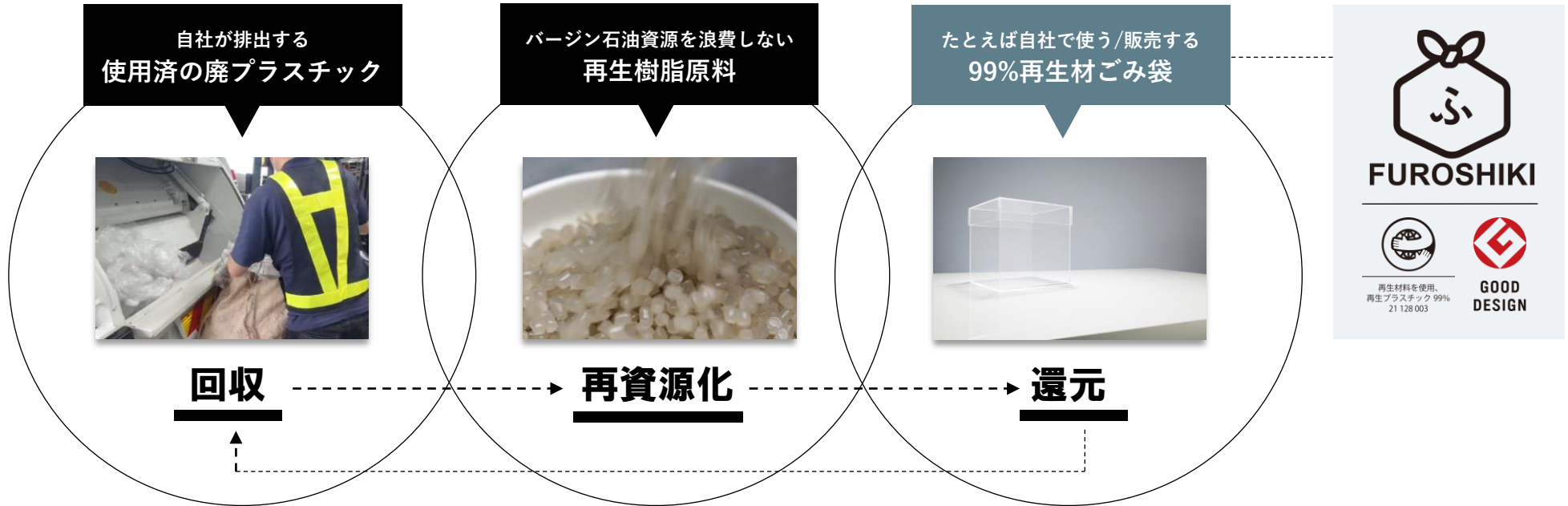
(取引代理店)



(加入者)

Satisfactory

排出事業者参加型 自社のどの廃棄物を、どのように回収・処理して、何をつくるか。物流デザインと実行を支援。



廃棄していませんか？

- ストレッチフィルム
- 緩衝材
- クリアファイル
- PETキャップ など

販促もサポート！

- リーフレット
- 動画
- Webサイト/リリース
- POP/ノベルティ など

物流網をお持ちのメーカー様を中心に多くのご相談を頂いています



再資源化インフラ・プロバイダーとしてあらゆる「現場」情報を集約・アウトプット



環境コンサルティング事業

企業、自治体の CSR・サステナビリティ担当者様のお声

- ❑ SDGs担当部署が新設されたが、何をしたいかわからない
- ❑ CSR活動に事業性の検討はされずコストと認識されている
- ❑ 突発的な取組みばかりで、効果的に企業価値を発信できない
- ❑ サプライチェーンの理解が得られず活動を広げられない



サステナビリティ戦略支援の実績事例

アパレル企業



- ESG投資動向調査
- 関連団体とアワード紹介
- ESG/SDGsのWebページ制作

外資物流企業



- イベントプログラム提供
- 環境素材提供
- SDGs講義&ワークショップ

繊維商社



- 衣服の資源循環スキーム構築
- アパレル企業への共同提案
- ESG投資動向調査

環境省/外務省

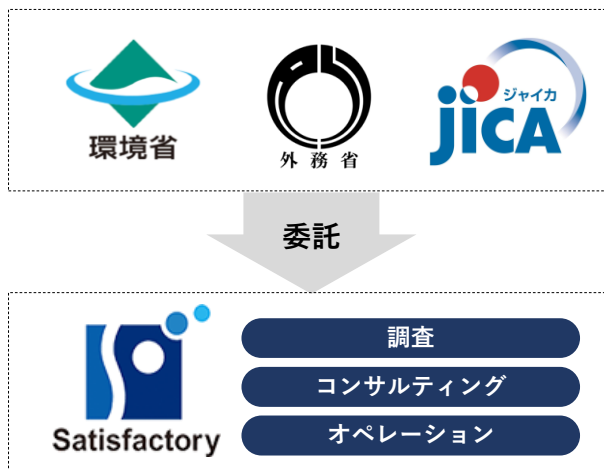


- 開発途上国での埋立地再生
- 有害廃棄物処理管理
- 廃棄物発電と肥料化



海外環境事業開発

現地企業及び行政機関との幅広いネットワーク、法制度および商習慣に関する知識、廃棄物処理に関する知識を持った海外人材を活かして、共同事業者とプロジェクトに取り組んでいます。



ベトナムをはじめとし、開発途上国での開発に注力

<主な共同事業者>

- 日立造船株式会社
- 株式会社日立物流
- 株式会社アクトリー
- サイゴン商業公社 (SATRA)
- (公財) 日本産業廃棄物処理振興センター
- 大阪市環境局
- 独立行政法人国立環境研究所
- 株式会社EJビジネス・パートナーズ
- 株式会社エイト日本技術開発
- みずほ情報総研株式会社 等





環境教育「eduCycle (エデュサイクル)」

企業から廃棄される資源を、子供たちの環境教育教材に生まれ変わらせるアップサイクルプロジェクト。教育機関や企業向けにプログラム開発、教材提供、イベントやワークショップの企画運営を行います。

new
「KIZUNA KIDS」プロジェクト

- ✓ 小学校に無償提供
- ✓ 全国100校限定提供
- ✓ 3年で1000校供給体制

(参加企業様抜粋、順不同)



企業の廃棄品 エコ教材に変身

小学校で図工の素材に



不要になった生地のサンプルを捨てて工作する児童(東京都荒川区の「曙光小学校」)

リサイクルの実体験

この日は工作に先立ち、食料の廃棄を減らす「ゴミの最終処分はあと何年でいっぱいになるか?」「2020年の東京五輪で、リサイクルで作れる可能性はあるか?」を担当の田中康久教諭(57)は児童の興味を喚起しようと、クイズ形式で問い掛けた。児童は昨年10月、東京都荒川区の廃棄物処理処分場を見学し、今年荒川区内のリサイクルセンターを回る予定。田中教諭は繰り返して学習することで「ゴミの減量やリサイクルについての意識を定着させた」と話す。

授業を真な表情で見守った豊田英子校長(61)は、作業を終えた児童が「フクトリー」(東京・中丸)に残った素材を使った仕掛け物などでない物に分ける姿に目を留めた。子供たちに物の大切さが伝わった証視だと思ふ。

「このリサイクルと学校教育を結びようとの試みは、廃棄物処理のコンサルタント会社「サテラス」(東京・中丸)が手がけた。繊維や布、丹精社(東京・豊)は顧客との商談で使うフクロン、グ、タイトル、カーテンなどのサンプル提供し、顧客のニーズに合わせて少量多品種などできるサンプルをの1日に合致した企業をの1日に合致する。ゴミが学校教育で活用している環境を社員が持つて、それを発見していく」と話す。

東京都 モデル事業 × Satisfactory

企業 大学 小学生

新プロジェクトスタート!

東京都内の企業で発生した廃棄サンプル品等を、大学生のアイデアで環境教育教材にする一大プロジェクト!

(2017/1/13日本経済新聞夕刊)



再生可能エネルギー

 **44** 県市町村

 **288** か所

 **31,768** kW
(設置および管理実績)

公有の土地や屋根を一括でお借りし
太陽光発電事業を行っています

自治体様は
設置費用をかけずに

新たな長期安定 財源の確保	未利用地の解消
自立電源の確保で 災害時対策	再エネ推進で 環境貢献



<主な設置場所>

- 大小の遊休地
- 庁舎
- 小学校、中学校
- 幼稚園、保育所
- 診療所
- 給食センター
- 団地
- 浄化センター、クリーンセンター
- ホール
- 福祉センター
- 道の駅、温泉館
- 公民館 など

発電事業者は特別目的会社の株式会社ウエストPPPです。

■ メディア掲載情報（抜粋）

<p>● 2021年2月20日</p> <p>総合情報誌 Wedge</p> <p>取材記事： ゴミを有価物に変える「グッドデザイン」な取り組み</p>	<p>● 2020年11月9日</p> <p>経営情報誌 日経ビジネス</p> <p>講演採録： 投資ゼロのサステナブル経営 — 廃プラ有効活用は世界の課題</p>	<p>● 2020年11月8日</p> <p>企業・投資家情報誌 日経ESG</p> <p>講演採録： 新素材で「消費」を生むか、既存資源で「循環」を生むか</p>	<p>● 2020年11月4日</p> <p>環境・公害専門紙 環境新聞</p> <p>取材記事： プラスチック資源の適正循環を目指してFUROSHIKIプロジェクト</p>	<p>● 2020年11月2日</p> <p>循環型経済の専門紙 循環経済新聞</p> <p>記事： 国内100社から130t回収 廃プラ対象、累計330t超え</p>	<p>● 2020年10月29日</p> <p>ビジネス総合紙 日経産業新聞</p> <p>取材記事： 企業の廃プラ、自社のゴミ袋に — サティスファクトリー、循環訴求</p>	<p>● 2020年10月1日</p> <p>経営者・自治体専門誌 事業構想</p> <p>取材記事： 動脈産業と静脈産業をつなぎ、廃プラを600万枚のごみ袋に再生</p>
---	---	---	--	---	---	---

■ これまでの登壇情報（抜粋）

日経SDGs/ESG会議（2021年5月10日）

『水平リサイクルで脱炭素経営 — 『再資源化白書2021』が示唆する処理コスト削減』

日経SDGsフェス 大阪梅田（2021年2月18日）

『明日から始められる投資ゼロのサステナブル経営』

日経SDGs/ESG会議（2020年11月24日）

『再資源化インフラ・プロバイダー ～廃棄物から循環型経営を実行支援～』

日経大丸有エリアSDGsフェス 日経SDGsフォーラム 特別シンポジウム（2020年9月3日）

『新素材で『消費』を生むか、既存資源で『循環』を生むか ～ごみでSDGs経営をScoring～』

日経大丸有エリアSDGsフェス 日経SDGs/ESG会議（2020年8月31日）

『投資ゼロのサステナブル経営 ～廃棄物から見えてくる新しいESG経営指標～』



2020年8月31日実施「SDGs / ESG会議」の様子